

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月12日

上場会社名 そーせいグループ株式会社

コード番号 4565 URL <http://www.osei.com/>

代表者 (役職名) 代表執行役社長(兼取締役)CEO (氏名) 田村 真一

問合せ先責任者 (役職名) 執行役副社長 (氏名) 虎見 英俊

四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日

配当支払開始予定日 —

上場取引所 東

TEL 03-5210-3290

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	788	498.2	△573	—	△491	—	△493	—
21年3月期第2四半期	131	—	△2,012	—	△2,117	—	△1,856	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	△4,182.04	—
21年3月期第2四半期	△15,746.12	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	11,766	11,578	97.2	97,031.10
21年3月期	12,367	12,138	97.1	101,856.44

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 11,439百万円 21年3月期 12,008百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	850	455.9	△1,800	—	△1,800	—	△1,800	—	△15,268.08

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
 - ② ①以外の変更 無
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- | | | | | |
|----------------------|-------------|----------|-------------|----------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 22年3月期第2四半期 | 117,893株 | 21年3月期 | 117,893株 |
| ② 期末自己株式数 | 22年3月期第2四半期 | —株 | 21年3月期 | —株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 22年3月期第2四半期 | 117,893株 | 21年3月期第2四半期 | 117,893株 |

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成21年10月22日に業績予想の修正を公表いたしました。
 2. 上記の予想は、本資料の発表日現時において入手可能な情報及び将来の業績予想に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。
- なお、上記1に係る業績予想の具体的な修正内容は、4ページ【定性的情報・財務諸表】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当社グループは、日本及び英国の子会社（日本：株式会社そーせい、英国：Sosei R&D Ltd.）を中心にグローバルに医薬品の研究開発事業を展開しております。

当社グループは経常的な収益を期待しうる上市品を現時点では有していないため、収益面では、当面は開発の進展に応じて導出・販売提携先より当社グループに支払われるマイルストーン収入等、並びに緊急避妊薬（NorLevo）のサンド社（オーストラリア）への販売による収入等に依存する状況となっております。

当第2四半期連結累計期間における経営成績は以下のとおりです。

①売上高、売上総損益

当社グループは当第2四半期連結累計期間において、788百万円（前年同四半期131百万円）の売上を計上しました。主な内容は、ノバルティス社（スイス）からのNVA237の第Ⅲ相臨床試験開始に伴うマイルストーン収入、SOH-075の承認申請によるあすか製薬株式会社からのマイルストーン収入及び緊急避妊薬（NorLevo）のサンド社（オーストラリア）への販売収入であります。

②営業損失

当第2四半期連結累計期間は、573百万円の営業損失が生じました（前年同四半期営業損失2,012百万円）。この前年同四半期からの1,439百万円の営業損益改善は、売上高の増加及び一般管理費の発生の抑制によるものです。販売費及び一般管理費は1,324百万円発生し（前年同四半期2,024百万円）、うち研究開発費は209百万円（前年同四半期比68.4%減）、のれん償却額は794百万円（前年同四半期比増減なし）、その他の販売費及び一般管理費は321百万円（前年同四半期比43.5%減）です。研究開発費の抑制は、開発品の絞込み及び開発体制整備の結果によるものであり、一方その他販売費及び一般管理費の抑制は、経営体制リストラクチャリングの結果によるものです。なお、のれん償却額は、Sosei R&D Ltd.の買収により生じたのれんが每期均等償却されることにより発生しております。

③経常損失、税金等調整前四半期純損失、四半期純損失

上記営業損益の状況及び為替差益の発生を受け、当第2四半期連結累計期間の経常損失は491百万円（前年同四半期経常損失2,117百万円）、税金等調整前四半期純損失は491百万円（前年同四半期税金等調整前四半期純損失2,007百万円）、四半期純損失は493百万円（前年同四半期純損失1,856百万円）となりました。

④所在地別セグメント業績

所在地別セグメントの業績については、次のとおりであります。

a. 日本

国内業績では、売上高は89百万円（前年同四半期131百万円）となり、これは開発品SOH-075の当局への製造販売承認申請に伴うあすか製薬株式会社からのマイルストーン収入及び緊急避妊薬（NorLevo）のサンド社（オーストラリア）よりの販売収入によるものです。一方営業損失は327百万円（前年同四半期547百万円）となりました。

b. 欧州

欧州業績では、売上高は699百万円（前年同四半期2百万円）となり、これは開発品NVA237の第Ⅲ相臨床試験開始に伴うノバルティス社（スイス）からのマイルストーン収入によるものです。一方営業損失は246百万円（前年同四半期1,464百万円）となりました。

⑤研究開発活動

当第2四半期連結累計期間における研究開発活動の主な進捗は、開発品SOH-075（適応：緊急避妊薬）の当局への製造販売承認申請、開発品NVA237（適応：慢性閉塞性肺疾患）の第Ⅲ相臨床試験開始、開発品AD452（適応：マラリア感染症）の第Ⅰ相臨床試験開始です。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ600百万円減少し11,766百万円となりました。流動資産は前連結会計年度末に比べ231百万円増加し、2,279百万円となりました。うち現金及び預金残高は前連結会計年度末に比べ393百万円増加し、2,162百万円であります。一方固定資産は前連結会計年度末に比べ831百万円減少し、9,487百万円となりました。うち、のれん残高は前連結会計年度末に比べ794百万円が償却により減少し、9,396百万円であります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ40百万円減少し、188百万円となりました。一方株主資本は前連結会計年度末に比べ当四半期連結会計期間に純損失を計上したため493百万円減少し、10,393百万円となりました。なお、自己資本比率は97.2%となりました。

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は2,162百万円（前年同四半期2,908百万円）となりました。当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは前年同四半期と比較し、2,369百万円改善し、371百万円のプラス（前年同四半期1,998百万円のマイナス）となりました。主なキャッシュ・フローのプラス要因は、税金等調整前四半期純損益の改善、のれん償却額794百万円及び法人税等還付額186百万円であり、マイナス要因は未払費用の減少61百万円です。一方、投資活動によるキャッシュ・フローは32百万円のプラス（前年同四半期0.3百万円のプラス）となりました。なお、財務活動によるキャッシュ・フロー（前年同四半期発生せず）は生じておりません。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

■ 第3四半期及び第4四半期連結期間（平成21年10月1日～平成22年3月31日）

当社は平成21年10月22日に業績予想の修正を公表いたしました。修正の理由はSOH-075のライセンスアウトによる契約一時金、及びNorLevo（緊急避妊薬）のサンド社（オーストラリア）からの販売収入が第2四半期連結会計期間から第3四半期及び第4四半期連結会計期間にずれ込むこととなったためであります。

その結果、売上高は、マイルストーン収入、NorLevo（緊急避妊薬）のサンド社（オーストラリア）からの販売収入を見込みます。一方、研究開発費は157百万円、のれん償却費は792百万円、その他の販売費及び一般管理費は291百万円を見込みます。

以上により、業績予想は、売上高62百万円、営業損失1,214百万円、経常損失1,296百万円、当期純損失1,296百万円、営業活動によるキャッシュ・フローは444百万円のマイナスを見込んでおります。

■ 通期連結会計期間（平成21年4月1日～平成22年3月31日）

当社は平成21年10月22日に業績予想の修正を公表いたしました。修正の理由は、QVA149の第Ⅲ相臨床試験開始を契機とするマイルストーン収入が平成23年3月期連結会計期間にずれ込むことが見込まれるためであります。

その結果、通期の業績予想は、売上高850百万円、営業損失1,800百万円、経常損失1,800百万円、当期純損失1,800百万円、営業キャッシュ・フローは73百万円のマイナスを見込んでおります。

なお、平成21年5月14日の決算短信で発表しました通期の連結業績予想と平成21年10月22日に公表いたしました予想値の差異は以下の通りです。

(通期)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	1,700	△1,160	△1,200	△1,200	△10,178 72
今回修正予想 (B)	850	△1,800	△1,800	△1,800	△15,268 08
増減額 (B-A)	△850	△640	△600	△600	—
増減率 (%)	△50.0	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成21年3月期)	152	△3,667	△4,165	△3,938	△33,408 65

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

当第2四半期連結会計期間において、重要な関係会社の異動はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、第11期（平成13年3月期）に医薬品開発事業に軸足を転換して以来、企業価値を高めるべく医薬品の研究開発並びに平成17年9月における海外の医薬品開発ベンチャー企業（Sosei R&D Ltd.）の買収等に多額の先行投資を行ってまいりました。医薬品の研究開発事業には多額の費用を要し、また投資資金の回収も他の産業と比較して相対的に長期に及ぶため、ベンチャー企業が当該事業に取り組む場合は、一般的にキャッシュ・フローのマイナスが先行する傾向にあります。当社グループにおきましても同様に、先行投資により当局への承認申請を果たした開発品や第Ⅲ相臨床試験段階の開発品を保持するに至ったものの、前事業年度まで営業キャッシュ・フローのマイナスが継続しております。また、当社グループは、当第2四半期連結会計期間末において現金及び預金を2,162百万円（平成21年9月末現在）有しているものの、現時点において安定的な収益源を有しておりません。

これにより、将来にわたって事業活動を継続するとの前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

当社グループは、重要事象等の存在する当該状況を解消すべく、平成20年5月より従来の方針を抜本的に見直し、研究開発費の削減を中心とした営業キャッシュ・フローの改善に向けた諸策の取り組みを推進しております。

研究開発費の削減に関する主な諸策は以下の通りであります。

- ① 開発品の絞り込みを行い、開発後期段階の開発品に優先的に経営資源を投下し、並びに医薬候補品の探索（医薬）への投資を制限することにより、研究開発費を大幅に削減する。
- ② 開発後期段階であっても、多額の研究開発費を必要とする開発品AD923（適応：癌性突出痛）等については、アウトライセンス（癌性突出痛以外の適応及び器具の別用途も含む）、若しくは売却（当社グループが極力開発費を負担しない契約形態を想定）を検討する。
- ③ リスクの高いプロダクト・ディスカバリー事業から撤退する。
- ④ NVA237/QVA149及びAD923を除く開発品のうち、Sosei R&D Ltd.で研究開発中のものについては、当社グループの研究開発費拠出を極力抑制しうる形態でアウトライセンス若しくは売却を検討する。
- ⑤ インライセンスに関しては、当社グループの財政状況を見ながら、有望な後期開発候補品確保の検討も継続的に行い、ポートフォリオの新陳代謝を図ることにより、事業の継続性と企業価値向上の両立を図る。

研究開発費削減の進捗に関しましては、開発品目をSOH-075など開発後期段階のプロジェクトに絞り込むとともに、多額の開発費用を要するAD923並びにSosei R&D Ltd.で研究開発中のその他の開発品（SD281、LD452など）は、平成20年10月末までに所定の開発を終了し、ライセンスアウトや知的財産権の譲渡を完了しました。また、プロダクト・ディスカバリー事業の撤退は平成20年10月末で完了しました。これらの結果、当社グループの研究開発費は計画通り前年度実績に比べて大幅に減少しております。

一方、その他の固定費削減の進捗につきましては、懸案であったSosei R&D Ltd.の大幅な人員削減、Sosei R&D Ltd.の研究施設の閉鎖移転は予定通り平成21年2月に完了しております。また、当社の保有する特許の見直しによる維持費の削減、本社移転による経費の削減を行いました。以上の結果、当第2四半期連結会計期間末の営業キャッシュフローは大幅に改善しております。

引き続き、徹底してグループを挙げて経費削減に取り組み、支出を抑制することに加えて、マイルストーン等の収入を確保することにより、今期を含め2年以上の必要資金を賄えるようグループを挙げて取り組んでまいります。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,162,511	1,768,524
売掛金	50,100	16,880
その他	153,718	336,612
貸倒引当金	△87,148	△74,062
流動資産合計	2,279,182	2,047,955
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	43,064	41,022
工具、器具及び備品(純額)	5,012	3,731
有形固定資産合計	48,076	44,753
無形固定資産		
のれん	9,396,250	10,190,299
その他	3,332	5,509
無形固定資産合計	9,399,582	10,195,809
投資その他の資産		
その他	39,546	78,527
投資その他の資産合計	39,546	78,527
固定資産合計	9,487,205	10,319,090
資産合計	11,766,388	12,367,045
負債の部		
流動負債		
買掛金	160	162
未払金	48,539	34,983
未払費用	123,917	178,708
未払法人税等	1,080	2,160
その他	14,395	12,710
流動負債合計	188,092	228,724
負債合計	188,092	228,724
純資産の部		
株主資本		
資本金	16,965,805	16,965,805
資本剰余金	18,907,795	18,907,795
利益剰余金	△25,479,711	△24,986,678
株主資本合計	10,393,888	10,886,921
評価・換算差額等		
為替換算調整勘定	1,045,398	1,121,240
評価・換算差額等合計	1,045,398	1,121,240
新株予約権	139,008	130,159
純資産合計	11,578,295	12,138,320
負債純資産合計	11,766,388	12,367,045

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	131,832	788,633
売上原価	120,125	38,204
売上総利益	11,707	750,428
販売費及び一般管理費	2,024,650	1,324,337
営業損失(△)	△2,012,943	△573,909
営業外収益		
受取利息	8,563	1,547
為替差益	—	79,700
雑収入	1,659	708
営業外収益合計	10,222	81,956
営業外費用		
為替差損	114,257	—
雑損失	90	—
営業外費用合計	114,347	—
経常損失(△)	△2,117,068	△491,953
特別利益		
固定資産売却益	256	—
新株予約権失効益	124,738	—
特別利益合計	124,995	—
特別損失		
固定資産除売却損	15,065	—
特別損失合計	15,065	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△2,007,138	△491,953
法人税、住民税及び事業税	△150,780	1,080
四半期純損失(△)	△1,856,357	△493,033

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△2,007,138	△491,953
減価償却費	15,050	6,657
のれん償却額	794,049	794,049
株式報酬費用	61,392	8,849
新株予約権失効益	△124,738	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	—	13,085
賞与引当金の増減額(△は減少)	△14,799	△815
為替差損益(△は益)	114,257	△77,936
売上債権の増減額(△は増加)	68,073	△31,795
前払費用の増減額(△は増加)	△3,392	12,079
未収入金の増減額(△は増加)	19,386	△898
立替金の増減額(△は増加)	18,996	△12,892
未収付加価値税増減額(△は増加)	12,614	1,618
未払金の増減額(△は減少)	△164,707	13,579
未払費用の増減額(△は減少)	△844,897	△61,737
預り金の増減額(△は減少)	△14,377	1,300
その他	17,306	12,297
小計	△2,052,925	185,487
利息及び配当金の受取額	8,563	1,547
法人税等の還付額	47,162	186,977
法人税等の支払額	△812	△2,160
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,998,011	371,852
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,282	△6,022
有形固定資産の売却による収入	1,587	—
差入保証金の解約による収入	—	38,981
その他	14	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	319	32,959
財務活動によるキャッシュ・フロー		
財務活動によるキャッシュ・フロー	—	—
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,339	△10,824
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,999,031	393,986
現金及び現金同等物の期首残高	4,907,939	1,768,524
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,908,907	2,162,511

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日至平成20年9月30日）

医薬事業の売上高及び営業損失の金額は、全セグメントの売上高の合計及び営業損失の金額の合計額に占める割合がいずれも90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日至平成21年9月30日）

医薬事業の売上高及び営業損失の金額は、全セグメントの売上高の合計及び営業損失の金額の合計額に占める割合がいずれも90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

〔所在地別セグメント情報〕

前第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日至平成20年9月30日）

	日本 (千円)	欧州 (千円)	北米 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	131,832	—	—	131,832	—	131,832
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	2,832	2,014	4,846	△4,846	—
計	131,832	2,832	2,014	136,678	△4,846	131,832
営業利益（又は営業損失(△)）	△547,757	△1,464,091	△1,020	△2,012,868	△74	△2,012,943

当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日至平成21年9月30日）

	日本 (千円)	欧州 (千円)	北米 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	89,482	699,150	—	788,633	—	788,633
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	89,482	699,150	—	788,633	—	788,633
営業利益（又は営業損失(△)）	△327,512	△246,396	—	△573,909	—	△573,909

- (注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。
2. 本邦以外の区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。
(1) 欧州……英国
(2) 北米……米国

〔海外売上高〕

前第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日至平成20年9月30日）

	オセアニア	計
I 海外売上高（千円）	130,312	130,312
II 連結売上高（千円）	—	131,832
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	98.8	98.8

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

	欧州	オセアニア	計
I 海外売上高（千円）	699,150	40,711	739,861
II 連結売上高（千円）	—	—	788,633
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	88.7	5.2	93.8

（注）1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 各区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。

欧州……スイス

オセアニア……オーストラリア

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

該当事項はありません。